

ふらのコミュニティレポート

FURANO COMMUNITY REPORT



▲経営者としての基礎を学ぶ「J.C青経塾」

▶へそ祭りでは日中イベントなど演出企画部を担当

furano seinen kaigisyo 社団法人 富良野青年会議所



人づくりから
まちづくりへ

11月15日、富良野商工会議所で経営者としての基礎を学ぶ研修会「J.C青経塾」が行われました。研修会では、理想とする企業の指標である顧客満足、社員満足、家族満足など8つの満足度を自社がどれだけ満たしているかを数値化することで現状を知り、それに対し何ができるか、いつまでするかなど具体的な行動を文章化。経営に関する実践力を養いました。参加した男性経営者は、「改めて自分を見つめ直し、改善点を確認できました」と研修の成果を話していました。主催した社団法人富良野青年会議所（上杉日出男理事長）は、共に向上し合い、社会に貢献することを基本理念として、こうした人材育成研修会のほか、へそ祭りの演出企画部や地域交流型イベントの開催、今年復活したふらの花火大会実行委員会への参加など、経営者あるいはまちづくりの担い手としての資質を高め合っています。構成メンバーは、商工業者や労働者で、エリアは占冠から上富良野。独自で会費を集めて運営していま

す。上杉理事長は、「自ら発案し、運営できる。そのかわり責任も自分たち。思い描いていることを形にできるところが良いところ」と魅力を話します。また、「自社での役割は関係なくここではみんな同等。だから議論し合える。会議所内の役割は一年ごとに変わるので、使用者と使われる側の経験もできる。その経験は自社でも生きてきますよ」と強調。しかし、会員の減少が課題となっており、上杉理事長は、「若手の農業者や商店街の方、市職員と協力し開催した花火大会をきっかけに、人のつながりを広げていきたい」と既存の枠を越え、組織強化に奔走します。

